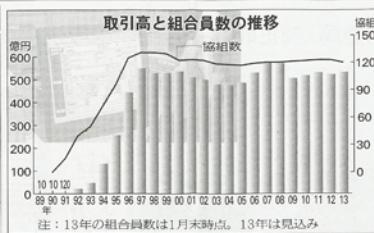


| ローカルネットの歩み | | 社会の出来事 | |
|--|-----|--|--|
| ・研究会を発足 ・基本理念を構築 | 89年 | ・昭和天皇が崩御 ・消費税が導入される ・高速道路通行料金が平均8.9%の値上げ | |
| ・物流ネットワークシステム協同組合(現J.L.連合会)で求車求荷システム稼動開始 | 90年 | ・物流2法施行 ・大学入試センター試験開始 ・即位の礼 ・東西ドイツ統一 | |
| ・連絡協議会が発足 ・初代会長に衣弘充氏が就任 | 91年 | ・初の運行管理者試験実施 ・湾岸戦争勃発 ・バブル崩壊 | |
| ・第1回総会を神戸市で開催 | 92年 | ・物流効率化法、NOx総量削減法が施行 ・佐川監査疑惑 | |
| ・50会員を突破 | 93年 | ・軽油引取税が1㍑当たり7円80銭引き上げ ・皇子様がご成婚 ・サッカー初代Jリーグが開幕 | |
| ・第2代会長に福永征秀氏が就任 | 94年 | ・改正道路交通法が施行、過積載運行責任を明確化 ・関西国際空港が開港 | |
| ・第3代会長に金崎豊氏が就任 ・J.L.連合会が運輸省より認可 ・初代会長に金崎豊氏が就任 ・100会員を突破 | 95年 | ・高速道路通行料金平均7.2%値上げ ・阪神大震災 ・地下鉄サリン事件 | |
| ・第2代会長に保田亘氏が就任 ・連合会式典を大阪で開催 ・新ロゴマークを制定 | 96年 | ・兵庫県で駐車中のアイドリングに罰則を規定した条例施行 | |
| ・第3代会長に福永征秀氏が就任 | 97年 | ・週4時間労働時間規制 ・消費税率、5%に引き上げ | |
| ・連合会新ビジョンを発表 ・新システム構築に着手 ・ホームページを開設 ・略称をJ.L.に統一 | 98年 | ・3PLが普及 ・Windows 98発売 ・長野冬季五輪開催 | |
| ・大阪市北区の現規事務所に移転 ・新システム「ローカルネットV1」稼働 | 99年 | ・東京都「ディーゼル車NOx作業」 ・NTTドコモ、iモード開始 | |
| ・7地域本部制を導入 | 00年 | ・NOx+PMなど環境対策の社会的要請が強まる ・雪印乳業食中毒事件 | |
| ・J.L.連合会憲章を制定 | 01年 | ・トラックの最低保有車両数、全国一律5万台に引き下げ ・Windows XP発売 | |
| ・第4代会長に木村真一氏が就任 ・「ローカルネットV2」稼働 | 02年 | ・全ト協が軽油引取税暫定税率7円80銭撤廃を訴え総決起大会 ・サッカーW杯日本共催 | |
| ・東日本大会を仙台市で開催 | 03年 | ・改正物流2法施行、運賃の事後届け出制と営業区域規制を撤廃 | |
| ・西日本大会を広島市で開催 ・携帯情報「スクニー」稼働 | 04年 | ・イタク情勢の混迷で原油価格が高騰 ・燃料高騰によるコスト急増が深刻化 ・耐震改修問題発覚 ・JR福知山線脱線事故 | |
| ・全国物流サミットを名古屋市で開催 ・ローカルネットのシステムがビジネスモデル特許を取得 | 05年 | ・改正省エネ法と運輸安全一括法が施行 ・W.B.Cで日本が初代優勝 ・軽油価格が高止まり | |
| ・中小企業・IT経営力大賞で、全国中小企業団体中央会会長賞などを受賞 | 06年 | ・「消えた年金問題」が発覚 ・物流サミットを開催 | |
| ・20周年記念式典を大阪市で開催 ・5代会長に加藤浩幸氏が就任 | 07年 | ・軽油価格高騰が運送事業者の経営を圧迫 ・中国製冷凍ギョーヤ農葉混入事件 | |
| ・新システム「ローカルネットV3」稼働 | 08年 | | |
| ・東日本大震災の被災地を支援 | 09年 | | |
| ・情報化月間において国土交通大臣表彰を受賞 | 10年 | | |
| ・J.L.認証制度を制定し、第1弾として318事業所を認定 | 11年 | | |
| | 12年 | | |
| | 13年 | | |



JL連合会25周年

日本ローカルネットワーキング協同組合連合会(以下、「J.L.連合会」)は、設立以来、25年にわたつて「信義と商道」相扶持の精神で活動して来り、ヒューマンネットに変えられた独自の求車荷システムを構築してきた。運送事業者の自発的取組みとして始めた試みは、四半世紀を経て全国11の協会、1630組合の物資情報ネットワークによって、事業者の貢献、社会貢献、また、社会貢献まで、運送事業者の活動へと発展を続けてい

(小草由和)

独自の求車求荷システム

効率的積合せ向け研究

1989年、大阪府と兵庫県の事業者が「コンビュータソフト会社」と「物流システム研究会」を立ち上げたところから、歴史が始まった。

翌年、物流法施行を控

り、規制緩和により予想さ

れた事業者の増加、メカ

ニカルな情報を取り扱う

ことによって効率的積合せが現れ、表現できないか」と研究

がスタート。

一般的貨物運送事業者も積合せ輸送を取り扱うようになり、手路運送会社の一般区域貨物

運送への取り組みが大き

くなる時代のつむぎが起ら

していた。「こうした中、

荷物情報を取り扱う、求車

情報を時代に合わせて、

効率化を標準化する動き

が現れる」と、

J.L.連合会が参加して新た

に、協議会を開いた。

これが、参考文献によれば、

1990年には運輸省(現国土交通省)から「J.L.連合会への変更認可を受け、初代会長に金崎豊氏(田村連

輪)が就任、会員数は110

0協議会突破、1うる協

となつた。

J.L.連合会は、安全運転

のための規制緩和を実現

するため、規制緩和の進

展をめざす活動を始めた

。J.L.連合会は、

規制緩和の実現をめざす

活動を始めた。

また、将来のJ.L.連合会

は、認定制度を明確化

する。J.L.連合会は、

規制緩和の実現をめざす

活動を始めた。

また、J.L.連合会は、

規制緩和の実現をめざす

活動を始めた。

また、J.L.連合会は、